

小樽市立菁園中学校 学力向上改善プラン

1 実施期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 生徒の実態

令和3年度全国学力・学習状況調査における本校の平均正答率は、国語65.0%、数学が56.0%であった。2教科ともに全国平均の値と同程度の数値であり、概ねの生徒が基礎的・基本的な学力が定着しているといえる。一方で、上位層と下位層の二分化の傾向は継続しており、生徒の力に応じた授業の実践やサポート体制が必要である。

学習習慣や家庭生活については、昨年度の生徒アンケートから、家庭学習する時間（塾などを含む）が1時間未満の生徒が21.2%と全国平均の24.0%より下回っている。スケジュール手帳「あすのおと」の活用等の効果によるものと考えられる。ただし、学年や個人により差があるため、今後も学習習慣の確立をはかるとともに、家庭学習が定着していない生徒へ個別の支援を行っていく必要がある。

3 学年ごとの定着目標（数値目標）

<国語科>

学年	定着目標
1年	・当該学年の漢字の小テスト（漢字の書き）を80%以上正解する生徒の割合を80%以上にする。
2年	・当該学年の漢字の小テスト（漢字の書き）を80%以上正解する生徒の割合を80%以上にする。
3年	・当該学年の漢字の小テスト（漢字の書き）を80%以上正解する生徒の割合を80%以上にする。

<数学科>

学年	定着目標
1年	・正の数、負の数の意味を理解し、基礎的な四則計算を80%以上解くことができる。
2年	・連立方程式の意味を理解し、基礎的な連立方程式を70%以上解くことができる。
3年	・2次方程式の意味を理解し、基礎的な2次方程式を60%以上解くことができる。

<学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
1年	・毎日70分以上、家庭で学習する。
2年	・毎日80分以上、家庭で学習する。
3年	・毎日90分以上、家庭で学習する。

4 目標を達成するための具体的な方策

(1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①朝読書を通年計画的に実施する。
- ②授業の始めに漢字ドリルを継続して実施する。
- ③数学科・英語科において少人数指導や習熟度別学習を実施する。
- ④チャレンジテスト、確認テストを活用する。
- ⑤放課後学習を充実させる。
- ⑥週末課題の取組を実施する。

(2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ①公開研究会に向け、授業スタイルを整えるための研修を進める。
- ②1単位時間の「課題」「振り返り」を意識した授業を工夫する。
- ③「自らの学びを深め、表現力をはぐくむ学びの工夫」を行う。

(3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ①スクール手帳「あすのおと」を活用し、生徒に指導するとともに、保護者に説明する。
- ②通年において計画的な放課後学習を行う。
- ③長期休業中の補充的学習サポート（夏休み・冬休み）を行う。
- ④PTAへの説明会や様々なたより等で啓発する。
- ⑤「生活習慣スケジュール表」を実施する。

5 実施計画

年月日	計画内容
R4年	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○R4全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査 自校採点 ・スケジュール手帳「あすのおと」の配付と生徒への指導、保護者への説明 ・チャレンジテストの実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の実施（通年） ・放課後学習の実施（通年） ・SSTの実施（前期）
6月	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○標準学力調査、総合質問紙調査結果分析 ・前期保護者アンケート、生徒アンケートの実施 ・チャレンジテスト、確認テストの実施 ・「あすのおと」を利用した家庭学習の振り返りの実施 ・学校評議員会の開催 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・夏休みの補充的学習サポートの実施
8月	○R4全国学力・学習状況調査結果分析
9月	○学力向上改善プランの評価・改善
10月	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・公開研究会の実施 ○保護者への調査結果の説明
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・後期保護者アンケート、生徒アンケートの実施 ・小中合同学校評議員会の開催 ・チャレンジテスト、確認テストの実施 ・「あすのおと」を利用した家庭学習の振り返りの実施
R5年	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みの補充的学習サポートの実施 1月 ・研修アンケートの実施 2月 ・学校評議員会の実施 3月 ○新学力向上改善プランの作成 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・学校評議員会、関係者評価委員会の開催 ・チャレンジテスト、確認テストの実施 ・「あすのおと」を利用した家庭学習の振り返りの実施

6 評価方法

(1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①国語の漢字テストを計画的に行う。
- ②数学の単元テストを計画的に行う。
- ③チャレンジテストや確認テスト、標準学力テスト全国学力・学習状況調査の結果を分析し、指導に活用する。

(2) 授業改善を図る校内研修の取組

- ・3学期に研修アンケート（生徒・教員）を実施する。

(3) 望ましい学習習慣・生活習慣を形成する取組

- ・1、2学期末に保護者アンケート、生徒アンケートを実施する。